

2007年（平成19年）海外邦人援護統計

目 次

I	事件・事故等総援護件数の特徴と推移	1
1.	2007年（平成19年）の特徴	1
2.	援護件数・人数の推移総括表	2
3.	地域別援護件数・人数の推移総括表	3
4.	援護件数の多い在外公館上位20公館	4
5.	2007年（平成19年）の主な事件・事故の事例	5
6.	主な犯罪加害及びその他の事例の特徴	6
7.	海外で邦人が被害者となった主な殺人事件	6
8.	麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴	7
II	海外邦人援護統計の推移と2007年の内訳（グラフ）	9
III	事件・事故等援護関係統計（全世界及び地域別内訳）	16

2008年（平成20年）6月

外務省 領事局 海外邦人安全課

I. 海外邦人援護件数の特徴と推移

1. 2007年（平成19年）の特徴

- (1) 2007年において我が国在外公館及び財団法人交流協会が取り扱った海外における事件・事故等に係わる総援護件数は15,964件（対前年比3.4%減）で、総援護対象者数は17,643件（同6.0%減）であった。
- (2) 今次集計結果として、取扱総件数は微減（3.4%）であったが、中南米地域の増加率は21.4%となり、大幅な増加となった。この要因として、同地域の治安の悪化が考えられる。
- (3) 『犯罪加害』は482件（567人）となり、主なものは、「出入国・査証関係犯罪」（95件、114人）、「傷害・暴行」（65件、70人）、「麻薬」（66件、79人）、「窃盗・同未遂」（37件、40人）、「道路交通法違反」（35件、36人）である。
- (4) 『犯罪被害』は5,692件（6,220人）となり、その多くは「窃盗被害」（4,535件、4,895人）である。次いで「強盗被害」（425件、487人）、「詐欺被害」（381件、440人）がこれに続く。
- (5) 『事故・災害』については、「交通事故」（240件、370人）が最も多く、その死亡者は42人であった。
- (6) 地域別では、アジア地域が6,924件（7,618人）と前年に引き続き最も多く、次いで欧州地域（4,210件、4,630人）、北米地域（2,732件、2,877人）、中南米地域（734件、923人）、大洋州地域（731件、793人）、アフリカ地域（388件、524人）、中東地域（245件、278人）となっており、中南米地域の取り扱い件数増加がみられる。
- (7) 在外公館別の援護件数の上位公館を見ると、在タイ大使館が前年に引き続き1,292件と最も多く、次いで在上海総領事館（1,012件、前年3位）、在ロサンゼルス総領事館（957件、前年4位）、在フィリピン大使館（914件、前年2位）、在英国大使館（551件、前年5位）となっており、特に在タイ大使館は15年連続で全在外公館中、援護件数が最高となっている。

< 件 数 >

		総 件 数	内						
			ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	アフリカ
事 故 ・ 災 害		416	198	67	42	38	33	15	23
戦 闘 ・ 暴 動		9	0	0	0	0	0	0	9
犯 罪 加 害		482	278	129	4	42	13	9	7
犯 罪 被 害		5,692	1,836	515	387	2,425	276	57	196
疾 病		875	542	109	47	108	10	28	31
行 方 不 明		78	40	6	2	27	3	0	0
そ の 他		8,412	4,030	1,906	252	1,570	396	136	122
総 数		15,964	6,924	2,732	734	4,210	731	245	388

< 人 数 >

		総 人 数	内						
			ア ジ ア	北 米	中 南 米	欧 州	大 洋 州	中 東	アフリカ
事 故 ・ 災 害		613	305	92	69	46	44	23	34
戦 闘 ・ 暴 動		53	0	0	0	0	0	0	53
犯 罪 加 害		567	337	140	8	51	13	10	8
犯 罪 被 害		6,220	1,951	546	433	2,682	301	66	241
疾 病		901	547	111	48	123	10	31	31
行 方 不 明		87	44	7	2	31	3	0	0
そ の 他		9,202	4,434	1,981	363	1,697	422	148	157
総 数		17,643	7,618	2,877	923	4,630	793	278	524

2. 援護件数・人数の推移総括表

年	総件数	内容別件数			総人数	死亡者数	傷病者数	海外渡航者数
		強盗・窃盗・詐欺 (被害犯罪・財産犯)	遺失 (旅券・財布等)	その他 (事故・犯罪加害・他案件)				
1998年	12,818件	6,299件	2,825件	3,694件	19,898人	480人	464人	15,806,218人
前年比増減率	3.01%	0.38%	-4.91%	15.94%	29.68%	2.56%	-11.11%	-5.93%
1999年	13,569件	6,482件	3,132件	3,955件	15,657人	462人	600人	16,357,572人
前年比増減率	5.86%	2.91%	10.87%	7.07%	-21.31%	-3.75%	29.31%	3.49%
2000年	14,754件	7,132件	3,261件	4,361件	17,141人	439人	881人	17,818,590人
前年比増減率	8.73%	10.03%	4.12%	10.27%	9.48%	-4.98%	46.83%	8.93%
2001年	14,118件	7,714件	2,311件	4,093件	16,745人	467人	684人	16,215,657人
前年比増減率	-4.31%	8.16%	-29.13%	-6.15%	-2.31%	6.38%	-22.36%	-9.00%
2002年	14,364件	6,837件	2,166件	5,361件	16,996人	516人	670人	16,522,804人
前年比増減率	1.74%	-11.37%	-6.27%	30.98%	1.50%	10.49%	-2.05%	1.89%
2003年	14,472件	5,947件	2,508件	6,017件	17,426人	483人	691人	13,296,330人
前年比増減率	0.75%	-13.02%	15.79%	12.24%	2.53%	-6.40%	3.13%	-19.53%
2004年	16,023件	6,066件	3,086件	6,871件	21,871人	564人	788人	16,831,112人
前年比増減率	10.72%	2.00%	23.05%	14.19%	25.51%	16.77%	14.04%	26.58%
2005年	15,955件	6,022件	3,231件	6,702件	19,503人	615人	669人	17,403,565人
前年比増減率	-0.42%	-0.73%	4.70%	-2.46%	-10.83%	9.04%	-15.10%	3.40%
2006年	16,523件	5,839件	3,157件	7,527件	18,771人	484人	590人	17,535,053人
前年比増減率	3.56%	-3.04%	-2.29%	12.31%	-3.75%	-21.30%	-11.81%	0.76%
2007年	15,964件	5,341件	3,122件	7,501件	17,643人	547人	610人	17,294,935人
前年比増減率	-3.38%	-8.53%	-1.11%	-0.35%	-6.01%	13.02%	3.39%	-1.37%

注(1) 海外渡航者数は歴年。邦人援護件数は1994年度(平成6年度)までは会計年度ごと、1995年(平成7年)以降は歴年ごとに取りまとめたもの。

(2) 死亡者数、負傷者数には、犯罪被害によるもののほか、事故や疾病によるもの、自殺等が含まれる。

(3) 海外渡航者数は法務省入国管理局統計を採用した。

3. 地域別援護件数・人数の推移総括表

年	アジア		北米		中南米		欧州		大洋州		中近東		アフリカ		総数	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
1998年	4,296	10,318	2,805	3,147	380	484	4,261	4,602	699	797	136	173	241	377	12,818	19,898
前年比増減率	4.81%	83.24%	-1.75%	-4.72%	0.80%	2.98%	5.11%	1.43%	16.31%	1.92%	-21.39%	-27.92%	-11.72%	-1.05%	3.10%	29.68%
1999年	4,717	5,420	3,042	3,510	414	567	4,238	4,798	718	827	171	188	269	347	13,569	15,657
前年比増減率	9.80%	-47.47%	8.45%	11.53%	8.95%	17.15%	-0.54%	4.26%	2.72%	3.76%	25.74%	8.67%	11.62%	-7.96%	5.86%	-21.31%
2000年	5,015	5,943	3,230	3,595	423	501	4,763	5,403	905	1,207	162	180	256	312	14,754	17,141
前年比増減率	6.32%	9.65%	6.18%	2.42%	2.17%	-11.64%	12.39%	12.61%	26.04%	45.95%	-5.26%	-4.26%	-4.83%	-10.09%	8.73%	9.48%
2001年	5,375	5,989	2,794	3,945	450	592	4,285	4,798	895	1,054	100	116	219	251	14,118	16,745
前年比増減率	7.18%	0.77%	-13.50%	9.74%	6.38%	18.16%	-10.04%	-11.20%	-1.10%	-12.68%	-38.27%	-35.56%	-14.45%	-19.55%	-4.31%	-2.31%
2002年	5,643	7,242	2,668	2,913	468	552	4,286	4,740	972	1,115	112	123	215	311	14,364	16,996
前年比増減率	4.99%	20.92%	-4.51%	-26.16%	4.00%	-6.76%	0.02%	-1.21%	8.60%	5.79%	12.00%	6.03%	-1.83%	23.90%	1.74%	1.50%
2003年	5,645	7,019	2,677	3,036	559	704	4,120	4,802	1,026	1,175	124	143	321	547	14,472	17,426
前年比増減率	0.04%	-3.08%	0.34%	4.22%	19.44%	27.54%	-3.87%	1.31%	5.56%	5.38%	10.71%	16.26%	49.30%	75.88%	0.75%	2.53%
2004年	6,200	10,871	2,839	3,097	708	913	4,657	5,131	1,128	1,258	203	226	288	375	16,023	21,871
前年比増減率	9.83%	54.88%	6.05%	2.01%	26.65%	29.69%	13.03%	6.85%	9.94%	7.06%	63.71%	58.04%	-10.28%	-31.44%	10.72%	25.51%
2005年	6,263	7,033	2,833	4,374	756	961	4,441	5,159	1,061	1,192	281	321	320	463	15,955	19,503
前年比増減率	1.02%	-35.30%	-0.21%	41.23%	6.78%	5.26%	-4.64%	0.55%	-5.94%	-5.25%	38.42%	42.04%	11.11%	23.47%	-0.42%	-10.83%
2006年	6,911	7,845	2,906	3,096	605	864	4,652	5,001	816	914	270	495	363	556	16,523	18,771
前年比増減率	10.35%	11.55%	2.58%	-29.22%	-19.97%	-10.09%	4.75%	-3.06%	-23.09%	-23.32%	-3.91%	54.21%	13.44%	20.09%	3.56%	-3.75%
2007年	6,924	7,618	2,732	2,877	734	923	4,210	4,630	731	793	245	278	388	524	15,964	17,643
前年比増減率	0.19%	-2.89%	-5.99%	-7.07%	21.32%	6.83%	-9.50%	-7.42%	-10.42%	-13.24%	-9.26%	-43.84%	6.89%	-5.76%	-3.38%	-6.01%

注：下段は対前年比

4. 援護件数の多い在外公館上位20公館

順位	在外公館名	件数	順位	在外公館名	件数
1	在タイ日本国大使館	1,292件	11	在バルセロナ日本国総領事館	420件
2	在上海日本国総領事館	1,012件	12	在中華人民共和国日本国大使館	367件
3	在ロサンゼルス日本国総領事館	957件	13	在イタリア日本国大使館	318件
4	在フィリピン日本国大使館	914件	14	在サンフランシスコ日本国総領事館	271件
5	在英国日本国大使館	551件	15	在シドニー日本国総領事館	268件
6	在香港日本国総領事館	534件	16	在フランクフルト日本国総領事館	260件
7	在フランス日本国大使館	533件	17	在ミラノ日本国総領事館	258件
8	在ニューヨーク日本国総領事館	530件	18	在スペイン日本国大使館	256件
9	在広州日本国総領事館	456件	19	在瀋陽日本国総領事館	186件
10	在大韓民国日本国大使館	438件	20	在バンクーバー日本国総領事館	181件

(参考) 交流協会台北事務所：159件

5. 2007年（平成19年）の主な事件・事故の事例

（1）事故・災害

- 航空機事故
 - 1月 米国プエリトリコにおいて、自家用飛行機が墜落し、搭乗していた邦人1名が死亡した。
 - 3月 インドネシアのジョグジャカルタ空港においてガルーダ航空機が着陸に失敗し炎上したが、搭乗していた邦人2名は無事であった。
 - 8月 米国ワシントン州中西部イーストン南方山間部において、ヘリコプターが墜落し、操縦していた邦人1名を含む4名が死亡した。
- 列車事故
 - 2月 エクアドルのチンボラソ県リオバンバ市において列車事故が発生し、ツアーで乗車していた邦人旅行者2名が死亡、2名が負傷した。
- 船舶事故
 - 6月 中国の黄浦江において、遊覧船と小型貨物船が衝突し、遊覧船に乗船していた邦人観光客1名が死亡した。
- 交通事故
 - 1月 オーストラリアのゴールドコーストにおいて、邦人旅行者が車にはねられ死亡した。
 - 2月 コロンビア中部グアトゥア市付近において、大型バスの転落事故により、邦人男性1名が死亡した。
 - 2月 イタリアのローマにおいて、邦人女性が宿泊予定先であったホテルの近くの道路を横断中にはねられ死亡した。
 - 3月 米国ハワイ島において、米国人運転の車が交通事故を起こし、同乗の邦人2名の内、1名が死亡、1名が重傷を負った。
 - 5月 中国西安において、空港から市内に向かっていた邦人旅行者21名を乗せた観光バスが交通事故に遭い、13名が軽傷を負った。
 - 7月 米国ボストン郊外ニュートン市において、邦人留学生2名が乗った車が道路脇の木に衝突し、搬送先の病院で死亡した。
 - 7月 ベリーズにおいて、在留邦人2名が交通事故に遭い、1名が死亡した。
 - 9月 米国ミズーリ州において、邦人が運転するオートバイが対向車両と正面衝突し、同邦人が死亡した。
 - 9月 メキシコのカンクン市において、邦人女性がバスターミナルに徒歩で向かっていたところ、ひき逃げに遭い死亡した。
 - 9月 チュニジア南部において、旅行中の邦人2名が交通事故で死亡した。
 - 11月 米国オクラホマ州において、邦人留学生が乗車した車が横転し2名が死亡した。
 - 12月 米国インディアナ州ラファイエット市において、邦人男性1名が車にひかれ、死亡した。
- 災害
 - 8月 ペルー地震で、イカ市在住の邦人（二重国籍）が死亡した。
 - 9月 タイのバンコク市内のホテルで火災が発生し、宿泊中の邦人9名が被災し、病院へ搬送された。

（2）犯罪被害

- 殺人・同未遂 「海外で邦人が被害者となった主な殺人事件」（P.6）参照
- 強盗・同未遂 アジア地域では、主に睡眠薬強盗が多く、北米地域、中南米地域及びアフリカ地域では凶器に加え、複数名による路上強盗及び侵入強盗が多発しているが、手口は地域により異なる。
- 窃盗・同未遂 主にホテル、空港において受付又は休憩中に目を離した隙に手荷物等を持ち去られており、特に欧州において同事案が多発した。
- 詐欺・同未遂 タイ、ベトナムなど東南アジア諸国で邦人旅行者が「いかさま賭博」に巻き込まれる事件、ぼったくりバーでの被害が多く報告された。

6. 主な犯罪加害及びその他の事例の特徴

(1) 犯罪加害

- 出入国・査証関係犯罪 不法滞在、不法入国、密入国幫助等の出入国管理法違反、旅券・査証の偽変造事犯等が含まれる。
- 詐欺 偽造クレジットカード行使、日本への渡航を持ちかけ金銭を徴収する等。
- 麻薬犯罪 「麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴」(P. 7) 参照

(2) その他の事例

- 疾病 疾病による死亡者は、359人を数え、全死亡者の半数以上を占める。
- 精神傷害 「精神障害者の性別・年齢別特徴」(P. 8) 参照
- 遺失 本人の不注意によるものが大半を占める。
- 出入国・査証関係 在留邦人、邦人旅行者が移民局等とトラブルを起こしたケースが含まれる。逮捕又は国外退去措置を受けるに至った場合には犯罪加害として集計した。
- 所在調査 遺産相続、不動産登記、用地買収等の為、海外に転出した親族に連絡を取る必要がある場合、弁護士法23条の2による照会、官公庁、裁判所及び三親等以内の親族よりの所在調査依頼がある。

7. 海外で邦人が被害者となった主な殺人事件

- 2月 パラグアイのアスンシオン旧市内の貧民窟に迷い込んだ邦人旅行者が賊に襲われ銃で撃たれ死亡した。
- 2月 ブラジルのサンパウロ市において、邦人が経営する飲食店に強盗が押し入り、店内にいた邦人経営者が殺害された。
- 2月 ブラジルのジャカレイ市において、邦人男性が自身の農園内で銃で撃たれ死亡した。
- 5月 フィリピンのブキドノン州バレンシア市において、邦人男性が自宅で殺害されているのを同人妻によって発見された。
- 6月 フィリピンのマニラにおいて、邦人が銃で撃たれ死亡した。
- 7月 フィリピンのパンパンガ州アンヘレス市において、邦人が銃で撃たれ死亡した。
- 7月 フィリピンのセブ州マダウエ市において、自宅の門を開けようと車を降りた邦人が2人組に銃で撃たれ死亡した。
- 8月 中国広東省において、邦人男性が刺され死亡した。
- 10月 ブラジルのマナウス市において、永住者である邦人男性が自宅前で何者かに銃で撃たれ死亡した。
- 10月 フィリピンのラスピーニャス市において、邦人男性がレストランの駐車場前路上において何者かに銃撃され死亡した。
- 11月 タイのスコータイ県において、邦人女性の刺殺遺体が発見された。
- 12月 オーストラリアのパースにおいて、邦人男性が刺され死亡した。

8. 麻薬犯罪者、疾病者、精神障害者、行方不明者及び被安否照会者の性別・年齢別特徴

(1) 麻薬犯罪者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	52	42	6	4	1	23	14	5	0	0	9	9	30	13
北米地域	13	13	0	0	0	11	0	1	0	0	1	2	3	8
中南米地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
欧州地域	11	6	4	1	4	2	3	1	0	1	0	3	6	2
大洋州地域	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中東地域	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
アフリカ地域	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
合 計	79	64	10	5	6	37	17	8	0	1	10	15	40	24

(2) 疾病者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	547	387	133	27	26	44	35	54	113	197	78	202	196	149
北米地域	111	48	53	10	5	9	9	17	19	26	20	43	44	24
中南米地域	48	32	16	0	1	15	11	3	6	6	6	9	33	6
欧州地域	123	65	42	16	6	10	9	20	13	32	33	48	37	38
大洋州地域	10	4	5	1	0	3	1	1	1	3	1	4	4	2
中東地域	31	19	12	0	0	3	12	2	1	13	0	17	12	2
アフリカ地域	31	17	12	2	1	8	8	2	4	6	2	16	12	3
合 計	901	572	273	56	39	92	85	99	157	283	140	339	338	224

(3) 精神障害者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	69	35	32	2	1	12	14	12	4	6	20	14	33	22
北米地域	118	40	65	13	6	21	26	15	10	9	21	41	40	37
中南米地域	8	5	3	0	0	1	0	4	2	1	0	5	3	0
欧州地域	83	22	57	4	4	15	26	12	10	7	9	28	27	28
大洋州地域	19	8	9	2	0	9	4	1	2	1	2	12	5	2
中東地域	2	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0
アフリカ地域	7	2	5	0	0	3	0	2	2	0	0	2	5	0
合 計	306	114	171	21	11	61	72	46	30	24	52	102	115	89

(4) 行方不明者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	44	32	7	5	2	6	6	7	2	6	15	8	16	20
北米地域	7	2	4	1	0	0	4	0	0	1	2	2	4	1
中南米地域	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1
欧州地域	31	18	10	3	7	6	3	3	2	4	6	12	8	11
大洋州地域	3	2	1	0	0	0	2	0	0	0	1	1	0	2
中東地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アフリカ地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	87	54	23	10	9	12	15	11	4	11	25	23	29	35

(5) 被安否照会者の性別・年齢別特徴

地 域	総人数	性 別			年 齢							滞 在 形 態		
		男 性	女 性	不 明	19歳以下	20～29	30～39	40～49	50～59	60歳以上	不 明	在留邦人	短期滞在	不 明
アジア地域	206	145	49	12	8	39	38	29	15	14	63	48	73	85
北米地域	125	56	59	10	4	46	12	11	5	9	30	74	23	28
中南米地域	12	8	3	1	0	2	1	3	0	2	4	4	6	2
欧州地域	55	22	29	4	4	22	8	2	3	4	12	22	14	19
大洋州地域	23	10	12	1	0	11	5	1	1	0	5	14	6	3
中東地域	18	8	9	1	0	4	3	0	1	2	8	2	14	2
アフリカ地域	5	1	4	0	0	3	1	0	0	0	1	2	1	2
合 計	444	250	165	29	16	127	68	46	25	31	123	166	137	141